

沖縄空手 シンポジウム

入場
無料

どなたでも
参加できます

当日参加も可能ですが、会場の都合により先着300名様のご受付となります。
参加ご希望の方は、お早めにお申し込みください。※お申し込み方法は裏面をご参照ください。

令和元年 9月29日(日)

18:00~20:00
(17:30 開場)



〈会場〉 沖縄空手会館 道場

沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録等に向けて、沖縄空手各流派の型や歴史に関する調査・研究をはじめ、沖縄伝統空手道振興会の組織運営基盤の強化(法人化等)、沖縄空手国際大会の継続開催など、関係機関が一体となった取組の推進状況について、空手関係者や一般県民へ広く周知し気運の醸成を図るとともに、関係機関の一層の連携促進を図ることを目的にシンポジウムを開催します。

プログラム

18:00	開会
18:00~18:25(質疑応答10分)	県の取組紹介(沖縄空手流派研究事業など) 沖縄県文化観光スポーツ部空手振興課課長 山川 哲男
18:30~20:00(質疑応答10分)	パネルディスカッション(沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録など)
20:00	閉会

パネル ディスカッション 登壇者

コーディネーター	宮城 篤正	元沖縄県立芸術大学学長
パネリスト	照屋 義実	沖縄県政策参与
	東恩納 盛男	沖縄の空手・古武術保存会副会長、国際沖縄剛柔流空手道連盟最高師範
	新垣 邦男	沖縄伝統空手道振興会理事長
	比嘉 稔	沖縄小林流空手道究道館連合会会長
	島袋 善保	国際沖縄少林流聖武館空手道協会会長
	島袋 常雄	沖縄県上地流空手道連盟会長
	田名 真之	沖縄県立博物館・美術館館長



